

骨盤臓器脱外来チームに注目 我慢せずに早めの受診を

骨盤臓器脱とは、骨盤内の臓器（子宮、膀胱、直腸など）が「膣」や「肛門」から脱出してくる疾患の総称で、子宮脱・膀胱瘤など

様々なものがあり、悩んでいる方は非常に多く、全国で数百万人はいるといわれる疾患です。

骨盤内臓器は筋肉などで支えられており、これが加齢により弱くなったり、肥満や出産で伸びて傷ついたりなどして、骨盤臓器脱が生じます。股に何か挟まっているような不快感や下着が汚れるなどの自覚症状

もあり、自然に治ることはありません。羞恥心のために我慢している方も多いのが現状です。

治療方法は、膣側・肛門側から行う手術と、おなか側から行う2種類の手術、骨盤底筋体操やペッサリーなどを使用した保存的治療があります。さらに辻仲病院柏の葉では、複数の診療科が連携をとり骨盤臓器脱チームとして治療にあたっているのも特色です。

同院は、患者さんの病状を考慮し、本人の希望を尊重しつつ、最適な治療法を提供しています。

柏市若柴1-78-12

TX柏の葉キャンパス駅徒歩3分



浜畑 幸弘 病院長

辻仲病院柏の葉

04(7137)3737